

【定例】

提出

2024年10月6日

山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名： 焼岳（北峰）（2,393m） 長野県松本市	
入山日：2024年10月5日（土） 日帰り	
プラン担当者 正： 副：	焼岳北峰から見た南峰（右下噴煙）
参加者 L：報：記： 鈴木 久保。山崎、田島、 男 2名、女 2名、計 4名	
天候： 霧雨 時々曇り のち晴れ	
10月5日	東松山 IC より関越道-上信越道-長野道-松本 IC 下車 沢渡駐車 タクシーで登山口 6:30 新中の湯ルート登山口発-8:00 新道出合-9:45 焼岳北峰-12:00 焼岳小屋-14:15 帝国ホテル下山 タクシーで沢渡に戻り帰宅 行動：7h 45m
荒天候時のエスケープルート：来た道を引き返す	
装備と食糧	共同装備：ツエルト（鈴木、久保） 車提供者：鈴木 個人装備：雨具（レインウェア+ザックカバーなど）、防寒着、帽子、手袋、サングラス、スパッツ、ヘッドライト、ストック、予備バッテリー、紙地図、コンパス、ファーストエイド、ヘルメット 個人食： 昼食 行動食
感想	沢渡駐車しタクシー利用したが、登山口駐車場はぎりぎり間に合った模様。歩き始め霧雨が降り雨具装着したため急登で汗だくになる。2時間ほどで山頂らしきものが目に入り、樹林も少なくなった登山道は活火山の雰囲気が見れ始めた。硫黄のにおいが漂う他の山にない不思議な感覚に包まれて歩いた。さらに進むと岩稜帯となり所々に暖かい岩や熱気が噴き出す穴が見れた。山頂直下には硫黄に染められた岩や噴煙が見いだされ、地球の鼓動が感じながら山頂に到着した。下山は上高地への周遊ルートを選択、ハシゴが多数ある急下りを慎重に通過しながら、帝国ホテル脇に下山した。当初予定の下山後の温泉旅館泊はやめ、長距離日帰り山行を無事終えた。